

平成30年5月31日

金沢区長

所在地：横浜市中区桜木町
法人名：社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会

理事長：会長 大場 茂美



平成29年度 並木地域ケアプラザ事業報告書等の提出について

平成29年度 並木地域ケアプラザの事業報告に係る下記書類を提出します。

【施設名】

並木地域ケアプラザ

【提出書類】

- (1) 平成29年度 並木地域ケアプラザ事業報告書
- (2) 平成29年度 並木地域ケアプラザ収支予算書及び報告書
- (3) 平成29年度 自主事業報告書・収支報告書

平成29年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市並木地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分（区と協議の上、策定して下さい。）

1 全事業共通

地域の現状と課題について

当ケアプラザ担当エリアは、約40年前から入居が始まった高層集合住宅群と戸建て住宅が広がる閑静な住宅街に存在します。近年では、湾岸エリアを中心に、新たな集合住宅等の建設も進みましたが、街開発から30～40年以上の年数を経過し、徐々に高齢化（並木1丁目で40%、富岡東エリアは20%前後）も進み、介護問題などが深刻化して来ています。また、一部地域の比較的新しい集合住宅では地縁のつながりが弱く、孤立したケースもしばしばありました。

一方、身近な地域で行われるサロン活動や体操教室などの地域の福祉活動は長年継続して実施されています。担い手不足から休止してしまう団体もあり、現状での継続の工夫も必要とされました。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

地域の方や福祉保健従事者、学校や施設などからの幅広い相談・問い合わせに対応できるよう、全職員が常に“公共の施設”としての意識を持ち適宜対応しました。

加えて、定期的を実施している事業（「介護者の集い」や「子育てサロン」「障がい者青年学級」など）を通じて、参加者から寄せられる相談や個々のニーズ等に対応しました。

また、地域活動交流・地域包括支援センター（生活支援体制整備含）・居宅介護支援・通所介護のそれぞれの部門が、お互いの役割と機能を理解した上で連携を図り、適切に相談対応ができるように努めました。

(2) 各事業の連携

1 介護保険事業においては、担当職員は利用者・ご家族の意向に寄り添った支援を行うとともに、日頃から、個々の支援において地域包括・地域交流・生活支援の担当職員とも連携を図るようにしています。また、ケアプラザ職員として「地域に向けて何ができるか」についても意識して業務に取り組みました。

2 指定管理部門（地域活動交流・地域包括支援センター・生活支援体制整備）においては、「個別の支援から地域の支援へ」を意識し、地域の事業への協力や出張相談などは5職種で分担して行っています。定例ミーティングで地域の情報の共有、それぞれの事業の意見交換・進捗確認・ふり返しをおこないました。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- 1 常勤職員については、資格要件等職員配置基準を満たした配置を行うことはもちろん、法人の人材育成計画に則り、ベテラン・中堅・新人のバランスを考慮し、多方面の経験を活かした人員配置を行いました。
- 2 法人で作成した「地域ケアプラザ業務指針」や「求められる職員像」を活用し、社会福祉協議会の運営する地域ケアプラザ職員として、地域支援を基本とした職員の育成に努めました。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

よりよい地域支援を実現できるよう、地区社協、自治会町内会、近隣地域ケアプラザや区役所、区社会福祉協議会など関係機関と連携を図りました。

- 1 自治会町内会・地区社会福祉協議会・地区民生委員児童委員協議会・近隣施設等関係機関との連携を図り、横浜市社会福祉協議会の進める「身近な地域のつながり・支えあい活動推進事業」に区社協とともに取り組みました。
- 2 地域ケア会議や地域の団体の交流会、会場利用団体の交流会等を通じて地域課題の共有化を図るとともに、福祉保健活動団体同士のつながりが持てるよう、情報交換や活動紹介の機会をつくりました。
- 3 地域の活動団体や地域の施設等（幼稚園や小学校等）と協力した取組みを行うとともに、地域に出向くことで関連機関・団体等との関係づくりを進めました。

(5) 区行政との協働

金沢区地域福祉保健計画「いきいき金沢・ささえあいプラン」の推進をはじめ、地域の課題を把握・共有しながら、地域の方とともに解決できるように、関係各署とともに取り組みました。

- 1 地域福祉保健計画地区別計画の推進について、地域支援チームの一員として積極的に携わり、区役所・区社会福祉協議会、近隣ケアプラザと連携しながら地域の取組みを支援しました。
- 2 また、地域包括支援センターで関わるケースの中で特に課題を多く抱えたケースの支援について、毎月の定例会を通して区所管課と情報を共有するとともに協働して対応しました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- 1 地域ケアプラザの事業等を通じて「集える場」として、「子育てサロン」「なごみサロン（世代間交流）」、「青年学級（障がい者）」、「健康麻雀サロン（介護予防啓発）」、「コーヒーサロン（地域交流）」を自主事業として毎月実施。様々な方が集える場を提供しました。
- 2 子育て世代や障害のある方々の顔の見える関係づくり、仲間づくりのきっかけとなる場として「子育てサロン」や「なごみサロン」「青年学級」を提供しました。
- 3 高齢者の介護予防や健康づくり、仲間づくりにつながる事業として多様な内容の「並木ティールーム」を開催しました。
- 4 夜間枠を活用した「きれいな姿勢&ぶれない体幹をGETしよう！」を連続講座で開催して、日頃ケアプラザにあまり縁のない世代や男性の参加がありました。
- 5 金沢区社協と共催で「ガイドボランティア養成講座」を開催し、福祉保健活動等に関心のある方をボランティア活動や地域活動につなげられるように努めました。

- 6 利用登録団体の力を活かした事業として「人形劇」「手話ソング」を開催することで、地域の方にその活動を知ってもらう共に、活躍の場を提供しました。
- 7 併設施設の地域活動ホームと「ふれあいハウスフェスタ」の共催実施、ケアプラザ主催事業の「青年学級」に活動ホーム職員がボランティアで参加するほか、近隣の小学校に「障害理解の出前講座」に同行するなど、事業を通じた連携を図りました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 1 地域のボランティア団体や当事者団体の定期活動の拠点として、会場を提供しています。新規登録が4件ありました。
- 2 「学校と福祉施設の連絡会」を開催し、福祉施設や学校等と顔の見える関係づくりを行いました。また、地域の放課後デイサービス事業所に初参加して頂き、事業内容の紹介をするなどして、相互理解を図りました。
また、包括エリアの女性保護施設「さつき寮」とは施設見学を機に、関係が構築できました。「ふれあいハウスフェスタ」に自主製品の販売で参加して頂きました。
- 3 布おもちゃの貸出事業は子育て世代だけでなく、地区社協、民生委員、障がい福祉団体、幼稚園等からも好評を得ており、関係づくりに役立っています。
自主事業では「人形劇」「手話ソング」の講師を地域のボランティア団体に依頼しました。また、ケアプラザの入口に飾る布おもちゃ（季節のタペストリー）の製作もボランティア団体に依頼しました。来館する多くの方に楽しんでいただきました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- 1 新たなボランティア人材を発掘、活動のきっかけとなるように「ガイドボランティア養成講座」を金沢区社協と共催しました。
「障がい児余暇活動支援事業サマーフレンド」はボランティア活動の場も兼ねて実施しました。
また、並木ティールームや介護予防事業では、次の代のボランティア活動者の発掘を意識した内容を企画しました。
中学校・大学等からの体験学習や実習を積極的に受け入れ、将来の福祉人材育成に協力するとともに、ボランティア登録を積極的に勧め、新たな担い手の発掘に努めました。
- 2 ケアプラザや地域で活動をされているボランティアの方々に、ケアプラザ事業の講師等を依頼することで、ボランティア人材の育成・活動支援を行いました。
自主事業では「人形劇」「手話ソング」の講師を地域のボランティア団体に依頼しました。またケアプラザの入口に飾る布おもちゃ（季節のタペストリー）の製作もボランティア団体に依頼しました。（再掲）
地域の方に、ケアプラザ事業へのボランティア協力を通して、育成・関係づくりを図りました。（「ふれあいハウスフェスタ」「健康麻雀サロン」「並木ティールーム」等）
- 3 「ボランティア活動をしたい」「ボランティアによる支援をお願いしたい」という地域のニーズに対し、将来的なケアプラザのボランティアコーディネート機能の強化を見据えて、地区社協、区社協、富岡東ケアプラザと「ボランティア養成講座」を実施しました。（生活支援体制整備事業）
- 4 地域の関係団体や区社協等と連携を図り、ボランティア相談に対応しました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- 1 事業や講座時にアンケートを実施し、参加者からの意見を事業に反映しています。また、地区推進連絡会や地区の事業へ参加し地域の課題の共有に努めました。
- 2 所長をはじめ職員は積極的に出張相談や夏祭り等の地域主催事業に出向くように努めました。関係機関・団体の会議、行事等に参加し情報収集に取り組みました。
また事業のチラシ等の配布や掲示を依頼し、情報提供を行うことで、自治会町内会をはじめ近隣施設と協力し合える関係をつくりました。
- 3 情報を地域に向けて発信するために、カラー版広報紙を年6回発行しました。また、生活体制整備事業の周知として、増刊号を年4回発行しました。その他、広報よこはま金沢区版や横浜カレンダー、市社協HPを活用しました。
自治会未加入のため広報紙等の回覧・掲示がされないマンション等については、直接管理事務所にチラシを持参し周知依頼をしています。
会場利用登録団体や協力団体の活動・事業を広報紙に掲載し、地域に向けて情報を提供するとともに、ボランティア募集を行いました。
また、地域福祉団体の活動支援のため、助成金情報等を常時掲示しています。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

ケアプラザ内部においては毎月5職種ミーティングにて地域情報の共有をしています。事業の実施についても、企画時から地域交流や包括支援センターと疎通を図り、お互いに協力し合える関係になっています。
区社協の生活支援コーディネーターとは、地区担当という関係でもあるので、地区支援については連携を密に図っています。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- 1 昨年度に引き続き、シニアクラブ等で「困りごとアンケート」を実施しました。また、包括と区役所の定例会議にも毎回参加し、地域情報の共有を行うとともに総合相談票の確認や地区内の支援を要する人の情報や福祉ニーズの収集に取り組みました。
- 2 地区内のインフォーマルサービスの把握については、サービスリストのデータベースでの入力作業を通じて確認しました。
その他、区社協や地区社協、近隣ケアプラザと協力し、活動グループの交流会を実施し、活動の実態把握に努めました。

(3) 連携・協議の場

- 1 地域の集まり等に出向く中で得られた情報を毎月の5職種ミーティングにて共有しました。
区地域支援チームの一員として、地区内の動きや活動状況等について、チーム会議の場で情報提供等しました。
- 2 地域の行事やサロンなどに出向き、お手伝いをしたりする中で、お世話係の方々とコミュニケーションを図り信頼関係の構築につなげました。
地区社協へのアプローチを要する事業を企画する際は、エリアの重なる近隣ケアプラザおよび区社協1層コーディネーターと連絡を取り合いながら進めました。
- 3 高齢者の生活や活動に関する情報交換・意見交換の場としてサロングループやちょっとボランティアの「交流会」を実施しました。
体制整備の協議体と圏域の地域ケア会議を兼ねることで、包括支援センターの職員と

共有しながら独居男性高齢者の支援や送迎サービスの実情等、地域課題の検討について取り組みました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

シーサイドタウン地区については、昨年度より取り組んでいる「地区におけるボランティアの組織化」を引き続き地区社協と一緒に取り組み、団体のメンバーを募りました。今後は次年度の立ち上げに向けて定例会を開催し、具体的な検討を行っていく予定です。

富岡第一地区については、単位町内会エリアでの関わりを意識し、青砥地区の新規サロン事業の試行や日生鳥見ヶ丘地区の出張相談事業を通じて地域課題の把握に努めました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

1 運営法人である社会福祉協議会の方針に基づき、年度初めに区社協と共同で地区アセスメントを行い、地区支援計画を策定し、連携しながら地域支援にあたりるとともに、個別の相談業務に活かしています。

地区社協に対しては、金沢シーサイドタウン地区社協「ほのぼの」での出張相談を毎月実施しているほか、「子育て支援：お父さんと遊ぼう」や「社会を明るくする運動」キャンペーン、富岡第一地区社協の「医療講座」（富岡ケアプラザ共催）に協力し、ネットワークを築いてきました。

このほか、シーサイドタウン地区の保健活動推進員の定例会に出席するとともに、各シニアクラブへの参加や、自治会の夏祭りで相談コーナーを担当するなど情報交換をしました。

2 自治会町内会等が主催する4ヶ所のサロンへ毎月出席し、地域の高齢者や自治会町内会の方々との関係構築に努め、気軽に相談できる態勢を確保しています。また、13ヶ所の自治会町内会等に対し、延べ22回出張講座を実施しました。

また、地区民生委員・児童委員協議会とケアプラザとの情報交換会を実施するとともに、地域ケア会議に招致しご意見を伺っています。

3 個別の「地域ケア会議」では①独居で認知症を抱えた方をいかに支援していくかについて ②精神障害を抱え閉じこもりがちな方に対する家族も含めた支援について話し合い、関係者間で情報を共有し、支援方針・役割分担の明確化を図りました。

圏域の「ケア会議」では、「高齢・独居・男性」をキーワードに地域課題として取り上げ、担当民生委員とケアプラザが協力して、「居場所」的な事業の実施につながりました。そのほか、「学校と福祉施設の連絡会」（9月）、「ボランティア交流会」（1月）等にて情報交換や活動紹介の場を設けました。

②実態把握

1 継続支援ケースについては、訪問して詳細な実態把握に努めるとともに、日頃から関係機関と連絡・情報共有を図っています。困難ケース等は行政機関やケアマネジャーと相談や同行訪問を行いながら支援しました。包括三職種間はもとより、民生委員や団地の管理組合にも協力を依頼しながら、より良い支援ができるよう努めました。

また、家族支援の視点から、当事者だけでなく同居家族についても相談票に記録して情報共有し、支援を行いました。

2 相談の中で見られる傾向としては、「認知症」「独居」高齢者の課題が顕著で、相談対応件数は1,871件。その中で認知症と独居のケースが全体の3分の1以上（731件）であり、対応の際は、親類縁者・ご近所・医療機関・区役所など関係者との

調整も図っています。

- 3 地区の担当民生委員とは、日常的に連絡を取り合えるよう関係を築くほか、民児協とケアプラザの情報交換会を開催し連携を図りました。

また、シーサイドタウン地区の保健活動推進員定例会に参加し、相談し合える関係を築きました。ケアマネジャーや他機関に引き継いだ後も、継続支援できるよう常に状況把握に努めています。UR居住の独居男性高齢者について、民生委員と包括と協働して26件訪問し、アンケートを実施。生活状況の把握を行いました。

③総合相談支援

- 1 いつ誰が相談に訪れても、迅速に対応出来るように相談票はわかりやすく保管。相談者台帳は常に最新の状態で管理しています。また、訪問したケースについては「在宅援助記録票」を活用して記録・情報共有を行なっています。相談者が介護保険制度におけるケアマネジャー選定をする際、公正中立な立場から紹介できるよう、区内の居宅介護支援事業所のリストを作成し、相談者が選びやすいよう相談時の提示や窓口設置を行っています。
- 2 ケアプラザの強みを生かし、通所介護や居宅介護支援部門との連携を意識して業務にあたっています。担当職員が個々に日常的に情報交換するほか、毎月の常勤職員会議でも必要な情報共有を行い、5部門の連携を図っています。また、「介護者のつどい」や「ロバの会」に関わることで、何気ない会話の中からも相談に結び付けています。
- 3 来所や電話、訪問での相談のほか、出張型の相談も行っています。地区社協や自治会等へ働きかけ、並木エリアでは「ふれあい広場 ほのぼの」「並木一丁目第三住宅 街角談話室」にて、富岡第一エリアでは「お元気サロン」「日生鳥見ヶ丘 ゆりの会 この指とまれ」にて相談コーナーを開設しています。そのほか、自治会の夏祭りでの出張相談（7・8月）、エリア内のシニアクラブでの健康講話や介護保険制度周知講座（5・6・9・10・11月）、自治会行事へ参加（12・1月）などを実施し、相談対応及び生活に必要な情報の周知を図りました。

（2）権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- 1 自主事業でのミニ講座やシニアクラブ等地域での会合に出向いて、成年後見制度の説明や悪質商法の注意喚起を行ないました。
成年後見制度の適用が適当と思われるケースについては、専門機関に相談し、支援を図りました。
- 2 「介護者のつどい」において、行政書士の方を招致し、「遺言・相続と成年後見制度」と題した講座を開催しました。そのほか、自主グループの要望に応え、「老い支度」をテーマに「エンディングノート」の勉強会を実施しました。
- 3 「介護者のつどい」において、金沢署の生活安全課及び交通課の警察官を招致し、オレオレ詐欺などの犯罪や悪質商法に対する防犯講話、交通事故防止方策について説明をもらい（6月）、安全への意識を高めました。
- 4 「介護者のつどい」は4月を除き毎月開催し、介護者同士の「おしゃべりの場」と「勉強会企画」（上記2、3の企画のほか、「高齢者施設の案内」（10月）、「介護技術講習」（11月））を行いました。
- 5 区社会福祉士部会において新任ケアマネジャー対象の権利擁護研修を実施しました。
- 6 区役所で行われる成年後見ネットワークに参加し、活発な意見交換を行いました。

②高齢者虐待への対応

- 1 自主事業開始前や自治会町内会の会合時に、「高齢者虐待」についての説明を行いました。
- 2 普段からケアマネジャーや地域の関係団体と情報交換の場を持っており、高齢者虐待に関しても、疑いの段階から相談が寄せられました。虐待及び虐待が疑われる案件については区役所にも相談し、ケアマネジャーと連携しながら対応しています。ちなみに、虐待に関する相談は34件（但し虐待の疑いも含まれるが重複あり）ありました。
- 3 個別のケースにおいて、区と協働で対応しました。相談対応では、事実関係の確認および関係者へのアプローチ、カンファレンスの開催を行なったほか、毎月実施している区との定例会において、ケースについて情報共有をしています。
- 4 区社会福祉士部会において、「高齢者虐待防止」に係るメンバーを配置し、部会において研修内容等の説明を受けました。

③認知症

- 1 ケアプラザの広報紙や出張講座、自主事業の企画など様々な場面で認知症を取り上げ、相談窓口のPRを行いました。また、認知症関係の研修や会議には積極的に参加し、最近の動向や知識を得るよう努めています。その成果は所内で共有しています。
- 2 家族からの相談対応時に認知症について分かりやすく丁寧に説明し、認知症への理解を深めるよう努めました。
- 3 「介護者のつどい」での支援のほか、家族の介護離職をなくす為、新たに『働く世代向け認知症講座』を1月に開催しました。
- 4 並木・富岡地区の自主グループ「ロバの会」の実施する様々な世代（児童・生徒、地域住民等）を対象にした認知症サポーター養成講座を後援し、「認知症の方への理解啓発」や「ケアプラザの機能の周知」を図りました。
- 5 認知症を発症するも支援に繋がっていない方を早期に把握するよう努めました。必要に応じて認知症初期集中支援チームに繋げ、情報共有、役割分担をしました。
- 6 認知症をテーマとした講座（「予防・治療」「接し方と弱者に優しいコミュニティ形成」「認知症の方への入所施設紹介」）を開催しました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 1 エリア内13のシニアクラブ／町内会にて22回の出張講座・ケアプラザ事業の周知等を実施しました。未実施であった地区にも積極的に働きかけ、新たに2カ所のシニアクラブで出張講座を実施できました。自治会町内会が主催するサロン（お元気サロン、第三住宅サロン）に毎月出席しました。金沢シーサイドタウン地区社協、富岡東ケアプラザと共催で「ほのぼの」での出張相談を毎月実施しました。（再掲）
シーサイドタウン地区保健活動推進員の定例会に出席しました。（再掲）
- 2 民生委員とケアプラザとの情報交換会を金沢シーサイドタウン地区では8月に富岡東地域ケアプラザと共催で開催（再掲）。富岡第一地区では3月に民生委員とケアマネジャーとの交流会を富岡地域ケアプラザと共催で開催しました。
- 3 ひとり暮らし、高齢者夫婦世帯向けに「あんしん連携カード」を配布。ケアマネジャーや民生委員に積極的に紹介しました。
- 4 地域ケア会議で検討した独居男性高齢者の課題から、新たに『UR独居男性高齢者見守り事業』を実施しました。包括、民生委員で訪問、生活支援COと協働で講座の開催を行いました。（再掲）

②医療・介護の連携推進支援

- 1 区主任ケアマネジャー部会主催で「ケアマネジャーと薬剤師との情報交換会」を実施しました（9月）。その中で、「連携ハンドブックかなざわ」を利用したグループワークも実施しました。
- 2 北部主任ケアマネジャー（並木・富岡・富岡東・能見台）で共催し「在宅医療連絡会」を2回（8月、1月）に実施。今年度は『ターミナルケア』について検討し、多職種（医師、薬剤師、看護師ケアマネジャー、区役所、包括）での有意義な意見交換の場となりました。区内の地域包括支援センターで協働して「医療ソーシャルワーカーと包括との情報交換会」を2月に実施しました。
- 3 協力医による健康相談事業を実施しました。（年22回）また、ケアプラザ広報紙にて協力医による健康増進に関する記事を掲載しました。
- 4 在宅医療連携室の方に北部事例検討会に出席して頂き、連携を深めました。

③ケアマネジャー支援

- 1 北部ブロック（並木・富岡・富岡東・能見台）で7月・12月にケアマネカフェ&事例検討会を開催し、ケアマネジャー同士の交流とケアマネジメントのスキルアップを支援しました。今年度より、同日に開催する事でカフェでの良い雰囲気を実例検討会に活かせる事ができました。
- 2 区内の居宅事業所リストを更新し、各包括、区役所に配布しご利用者のケアマネジャー選定の一助となるよう努めました。
- 3 ケアマネジャーとの同行訪問・サービス担当者会議への参加を包括3職種で連携して行いました。また、日常的な相談対応についても、ケアマネジャーへの支援体制が構築できています。
- 4 区ケアマネ倶楽部役員会に主任ケアマネジャーとして出席し、情報提供や支援を行いました。また、北部エリア内居宅介護支援事業所を中心に北部主任ケアマネジャーで訪問し、各種事業の案内を手渡すとともに情報提供しました。
- 5 新人及び就労予定ケアマネジャーに対し、主任ケアマネジャー部会において、研修会を9月・11月（2月予定）に開催しました。また担当制による個別の育成支援も行いました。
- 6 地域活動交流の事業と連携し、エリア内にある女性保護施設へ初めて訪問し関係性を構築。ケアプラザ祭りなどにも出店して頂きました。今後のケアマネジャー支援にも活かしていきたいです。

（4）多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- 1 個別レベルの地域ケア会議を4月、1月に実施しました。日常圏域の地域ケア会議を7月、12月に実施しました。7月の包括圏域の地域ケア会議では、『UR男性独居高齢者見守り事業』の実施を決め、その後訪問事業、講座などを開催しました。今後も継続して実施予定です。
- 2 ケア会議で認知症ケースを検討する機会が多いため、若い世代への認知症理解・普及啓発の講座を新たに企画しました。

（5）介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

要支援の方が住みなれた地域で、つながりを維持しながら安心して生活ができるよう、関係機関と連携し、地域の情報を活かした「その人らしいケアプラン」を作成しました。また、3職種が委託先の居宅介護支援事業所へ情報提供や支援を行いました。

- 1 インフォーマルサービスの情報提供として、サービス担当者会議やケアマネジャーを通じて地域で行われている活動等を紹介し、利用者の生活域の拡大を図りました。
- 2 介護予防・介護予防ケアマネジメント従事者研修会（11月）の事務局として企画運営を担当しました。

（6）一般介護予防事業

一般介護予防事業

- 1 区役所と包括支援センターで連携しながら、4か所の元気づくりステーションが自主的に活動できるよう支援を継続的に行いました。
- 2 実施会場もケアプラザに限らずに、自治会やシニアクラブ、元気づくりステーション等において、グループの特性に合わせた介護予防に関する講座を企画、実施しました。
- 3 自治会やシニアクラブのサロン等で健康チェックや健康相談を実施し、高齢者の健康状態の把握と介護予防に関する情報提供を行いました。
- 4 地域活動交流部門と協力し、高齢者に限定しない運動講座を夜間時間帯に実施し、日中就労していてケアプラザの事業に参加しにくい地域住民の把握に努めることができました。
- 5 コグニサイズ研修を包括支援センター職員、生活支援コーディネーターが受講し、シニアクラブ等で講座を実施しました。
- 6 生活支援コーディネーターと協力して、健康麻雀サロンを月2回開催し、麻雀をツールとした介護予防、閉じこもり予防、仲間づくり、地域参加を目的としたサロン事業を行いました。
- 7 シーサイドタウン地区保健活動推進員定例会に出席し、ケアプラザの情報提供を行いました。
- 8 地域交流コーディネーターと連携し、自主グループの新規利用者募集を広報紙に掲載し、活動支援を行いました。
- 9 地域で介護予防の活動に中心的に取り組んでいる方々を対象に、認知症予防につながる臨床美術のアプローチを体験的に学んでいただく講座を実施しました。

併設施設との連携

併設している地域活動ホームシーサイドとは、それぞれの事業や特徴を相互に理解し協力関係を構築します。また、地域住民に対しそれぞれの施設や業務内容をPRしていくための事業を協同して実施しました。

- 1 地域ニーズに合わせた事業実施
全館イベントの開催や運営会議等への参加、自主事業への協力など相互に関係しながら事業を展開しました。
- 2 相互協力にもとづいた運営
併設施設との覚書にもとづき、水道光熱費、施設の保守・改修等を共同で行い、効率的な管理を行いました。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

当施設は、乳幼児やご高齢の方、障がいのある方など様々な方々にご利用いただいています。安心、安全に利用できる施設となるよう、適正な管理・運営に努めました。

1 衛生管理

快適・安全に利用していただけるよう、日常清掃や定期清掃を行いました。また、利用者・来館者の衛生環境向上のため、玄関およびデイルーム・トイレ出入口に吸水吸油マットを設置しています。

2 法令にもとづいた施設・設備の保守管理

建築基準法・消防法等の法令にもとづき適正に保守管理を行うとともに、専門業者による定期点検と、職員による日常点検を通じて安全確保に努めました。

3 計画的な施設・設備の改修

安全快適に利用できるよう計画的に施設および設備の補修を実施しました。

4 緊急時の対応

施設や設備の破損や故障については、利用時にご迷惑がかからぬよう関係機関と協議して迅速に対応しました。

イ 効率的な運営への取組について

公的施設の指定管理者であることを認識し、限られた予算内で適正な運営を行うため、経費の節減や資源の有効活用を心がけました。

1 予算管理にもとづく効率的な経営

コスト意識を持ち、予算内で効率的な運営を行うため、月ごとの収支状況を確認しながら経費節減や資源の有効活用に努めました。

2 省エネルギー対策やリサイクル等への取り組み

不要な電力消費を避け、エアコン等の温度調節を徹底しました。また、再生紙の利用や裏紙の活用など、日常的にリサイクルを心がけました。

ウ 苦情受付体制について

館内及びサービス利用者の方、及び周辺にお住まいの方からのご意見を頂くための仕組みを設け、適宜対応しました。

1 苦情の受付・解決

法人の苦情解決規則に基づき、苦情受付責任者及び担当者を任命、館内に掲示し、苦情の対応を進めました。また、法人内に第三者委員（苦情解決調整委員）を設置し、受付機会を増やす取り組みを進めました。

2 「ご意見箱」を常設

館内に「ご意見箱」を設置し、頂いた意見については改善策を掲示しました。また、事業参加者や利用者アンケート等を実施しました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

「事故・災害・事件対応マニュアル」を整備し、事故、感染症や災害などにも備えるとともに、事故発生時には施設内、法人内及び関係行政機関と速やかに連絡が取れるよう、連絡体制を整えていた。

また、特別避難場所としての役割を認識し、備蓄物資を適切に管理するとともに、災害時における人員の確保、役割の執行が行えるよう、関係行政機関と連携して体制を整備しました。

館内利用団体に対しては、避難経路を毎回利用時に伝え、必要な災害を想定した避難訓練を年2回実施するとともに、津波対策避難訓練も実施し、緊急時に対応できる組織づくりをすすめました。

オ 事故防止への取組について

施設内に留まらず、法人内他施設と情報を共有し、分析・予防を検討することにより効率的な事故予防に努めました。

- 1 事故や感染症、火災等の発生ゼロを目指し、ケアプラザ全体で安全管理に取り組みました。
- 2 職員会議で事故・リスクの共有を行い防止策を検討しました。
- 3 地震や津波を想定した災害対策について、マニュアルを活用しながら対処訓練等を行いました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

法人にて制定した「個人情報の保護に関する規程」及び「地域ケアプラザ等における個人情報の取扱基準」に基づき、個人情報に係る事故防止の取組を徹底しました。

- 1 個人情報の管理
個人情報が含まれる記録やデータ保存媒体等は施錠管理を徹底し、必要時以外の持ち出しを原則禁止するとともに放置しないよう徹底しました。やむを得ず外部に持ち出す場合も、訪問先からの直帰を禁止するなど細心の注意を払いました。
- 2 パソコンのパスワード設定
パソコンはパスワードを設定し、外部の者が使用できないようにしています。また、パスワードは定期的に変更し、より厳重な管理を徹底しています。
- 3 個人情報の回覧
個人情報の回覧にあたっては、内部が見えないケースに入れて行い、退出時にはキャビネットに収納し、机上に放置することがないようにしています。
- 4 守秘義務の徹底
職員だけでなくボランティア等事業に携わる者すべてに守秘義務について明文化したものを配布・説明し、守秘義務の徹底を図りました。

キ 情報公開への取組について

1 情報公開の取り組み

法人にて制定した「保有する情報の公開に関する規程」に基づき適切に対応しました。

- (1) 規程に基づいて、保有している情報を開示しますが、今年度の請求はありませんでした。
- (2) 公表に際しては、個人の不利益にならないことや責任者の判断を得ること等を徹底しました。
- (3) 施設概要やサービス内容を地域の方にわかりやすく提供できるよう、閲覧用の事業報告書・決算書、その他情報公表用資料を窓口を設置しています。

2 運営状況等の公開について

法人の運営状況について、事業報告書・決算書の本会ホームページへの掲載等、積極的に情報の公開に取り組んでいます。施設の事業についても、定期的に広報紙を発行し、地域の方々に周知しました。

ク 人権啓発への取組について

本会の活動理念である「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなで作ります」に基づき、本人家族の意向を尊重して対応を進めました。

- 1 日常的に、「高齢者虐待防止」「認知症の理解」「障がいのある方への配慮・理解」等をベースとした地域住民に向けた啓発を行いました。また、介護保険事業においては、業務マニュアルの中に倫理規程を設け「利用者本位」「自立支援」の方針に基づいた利用者支援（処遇）に努めています。
- 2 施設を利用する住民の方々のみならず、業務に従事する職員間であっても「互いを尊重し、相手に対する配慮ができているか」を振り返る機会を設けています。

ケ 環境等への配慮及び取組について

ヨコハマ3R夢プランにもとづき、ゴミの少量化、資源の有効活用、地球温暖化防止対応など環境に配慮しました。

1 ゴミの少量化

貸館にあたってはゴミの持ち帰りを引き続きお願いしていきます。また、施設独自に推進員を定め、参加人数を踏まえた資料作成や両面コピーの推奨など、ゴミの少量化に努めました。

2 資源の有効活用

ゴミを排出する場合はヨコハマ3R夢プランにもとづき適切に分別を行い、大切な資源としてリサイクルに活かす取り組みを実施しました。またリサイクルペーパーなどエコ商品を積極的に購入します。地域の方とともに発展途上国のワクチン推進の為のエコキャップ回収協力を継続しました。

3 地球温暖化防止への対応

利用されている方の状況を踏まえながら、環境に配慮した温度設定に取り組みました。また、不必要な照明をこまめに消灯する等積極的に節電に努めました。

4 その他の環境への配慮

職員の外出時は自動車の利用は極力避け、徒歩や自転車、公共交通機関を利用して化石燃料の節約に努めました。また、会車利用時はアイドリングストップなどエコドライブを実施し、公共施設として模範となるような行動に努めました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者 1名（常勤兼務）
- ・ 保健師 1名（常勤）
- ・ 主任ケアマネジャー 1名（常勤兼務）
- ・ 社会福祉士 1名（常勤）
- ・ 介護予防プランナー 1名（非常勤）

《目標》

要支援1・2と認定された地域の高齢者の主体性を尊重し、行動意欲を高め、家族等や地域資源を活かしたプラン作成により、住み慣れた地域で自立した生活が継続できるよう介護予防、介護予防ケアマネジメントのサービス計画書を作成しています。

- 「本人ができることはできる限り行うこと」を基本とし、ご利用者のできることをご利用者とともに発見し、ご利用者の主体性を尊重し、家族等の協力を得ながら自立した生活が継続できるよう支援を行いました。
- サービス計画書作成にあたっては、事業者との連携を図り、生活機能評価や認定審査会資料の情報をもとに、インフォーマルサービスを含めたプランづくりに努めました。
- 委託契約を結んでいる居宅介護支援事業所との連携、およびサービス計画書作成の助言を行うことでご利用者の自立につながるサービス計画書作成に努めました。

《実費負担》

- ご利用者のご負担はありません。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 介護予防支援事業所内で毎月定期カンファレンスを行い、情報共有、事例検討を行いました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
149	148	149	154	150	157
10月	11月	12月	1月	2月	3月
160	163	161	170	167	162

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者 1名（常勤兼務）
- ・ 介護支援専門員 7名
 - 常勤兼務 1名
 - 常勤専従 1名
 - 非常勤専従 4名
 - 非常勤兼務 1名

《目標》

- 要介護認定を受けている在宅の利用者が、住み慣れた地域でその人らしい生活を継続できるよう、ご利用者を取り巻く状況を総合的にとらえたご利用者主体のケアプラン作成に努めました。
- 法令遵守を基本とした公正中立な立場で関係機関と連携し、多様で総合的なサービス調整を行いました。
- 安心と満足につながる丁寧な支援プログラムをふまえ、ご利用者の自立支援と介護者にも無理のない、安定した介護体制づくりを支援しました。
- 地域の関係機関との連携に努め、より良いケアプラン作成に活かしました。
- 介護支援専門員として守るべき法令や倫理を自覚するとともに、更なる能力向上を図るために、内外の研修に参加し、支援の質の向上に努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ご利用者のご負担はありません

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域の身近な相談窓口としての地域ケアプラザの機能を活かした総合的な支援を行っています。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
154	148	151	160	163	163
10月	11月	12月	1月	2月	3月
165	164	163	164	164	163

● 通所介護

《提供するサービス内容》

- 生活指導（相談援助等）
- 機能訓練
- 介護サービス
- 健康状態の確認
- 送迎・入浴・給食

《実費負担》

● 1割負担分

（要介護1）	614円
（要介護2）	725円
（要介護3）	837円
（要介護4）	948円
（要介護5）	1,060円

加算額	入浴加算	54円
	体制強化加算Ⅱ	7円
	中重度ケア体制加算	49円

● 2割負担分

（要介護1）	1,227円
（要介護2）	1,450円
（要介護3）	1,673円
（要介護4）	1,896円
（要介護5）	2,119円

加算額	入浴加算	108円
	体制強化加算Ⅱ	13円
	中重度ケア体制加算	97円

介護職員処遇改善Ⅰ 所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算

●食費負担 750円

●行事費用（通常のプログラム以外に行う特別な行事） 実費

《事業実施日数》 週7日（12月29日～1月3日を除く）

《提供時間》 10:15～15:20

《職員体制》

- ・管理者 1名（常勤）
- ・生活相談員 3名（常勤・非常勤）
- ・看護職員 7名（非常勤・兼務）
- ・介助員 12名（非常勤）
- ・機能訓練指導員 7名（非常勤・兼務）
- ・運転員 7名（非常勤）

《目標》

介護保険法の遵守を基本に、ご利用者一人ひとりの個別性を大切にした通所介護計画を作成します。また、社会福祉協議会が運営する通所介護事業所として、地域の要介護者の要望に応えられるよう、サービスの質の向上に努めます。サービス提供時間の変更に伴う利用者のニーズの変化について振り返り、利用者の意思を尊重し心身の状況や環境に応じて、自立した生活を送れるよう取り組みます。

- 介護保険法を正しく理解し、根拠をもって業務にあたるよう、また通所介護計画の理解を深める為、所内研修を実施しました。
- 職員個々のアセスメント能力の向上を図りました。また、ご利用者の情報に関する報告、連絡、相談を職員間で徹底しました。
- 個人情報について漏えい事故がないよう、職員一人ひとりが意識をもって取り扱うよう努めました。
- 職員によりサービスの質が異なることのないよう、積極的に職員研修を実施し業務の質の向上及び標準化を図りました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 個々のご利用者の立場に立った、安心・安全・安定を基本とした、質の高いサービス提供に努めました。
- 介護保険事業所としてご利用者・ご家族、居宅介護支援事業所から選ばれる施設運営を目指しました。
- 介護保険の基本である「自立支援」の理念にもとづいた、利用者本位のサービス提供を心がけています。
- 多くのご利用者に来ていただくため、各居宅支援事業所と連携をはかるとともに、機能訓練や認知症予防を重視したレクリエーションに力をいれました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
531	549	561	571	576	550
10月	11月	12月	1月	2月	3月
531	529	493	470	488	531

● 第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- 生活指導（相談援助等）
- 機能訓練
- 健康状態の確認
- 送迎・給食・入浴

《実費負担》

● 1割負担分	（要支援1）		1,766円
	（要支援2（1））		1,766円
	（要支援2（2））		3,621円
体制強化加算Ⅱ	（要支援1）	1ヶ月	26円
	（要支援2（1））	1ヶ月	26円
	（要支援2（2））	1ヶ月	52円
● 2割負担分	（要支援1）		3,531円
	（要支援2（1））		3,531円
	（要支援2（2））		7,241円
● 体制強化加算Ⅱ	（要支援1）	1ヶ月	52円
	（要支援2（1））	1ヶ月	52円
	（要支援2（2））	1ヶ月	103円

※要支援2（1）は要支援2で週1回程度ご利用の方
 要支援2（2）は要支援2で週2回程度ご利用の方

● 介護職員処遇改善加算Ⅰ

所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算します。

● 食費負担 750円

● 行事費用（通常のレクリエーション以外に行う特別な行事） 実費

《事業実施日数》 週7日（12月29日～1月3日を除く）

《提供時間》 10：15～15：20

《職員体制》

・ 管理者	1名（常勤）
・ 生活相談員	3名（常勤・非常勤）
・ 看護職員	7名（非常勤・兼務）
・ 介助員	12名（非常勤）
・ 機能訓練指導員	7名（非常勤・兼務）
・ 運転員	7名（非常勤）

《目標》

介護保険法の遵守を基本に、ご利用者一人ひとりの個別性を大切に第1号通所介護計画を作成します。また、社会福祉協議会が運営する第1号通所介護事業所として、地域の要支援者の要望に応えられるよう、サービスの質の向上に努めます。

- 介護保険法を正しく理解し、根拠をもって業務にあたるよう、また介護予防通所介護計画の理解を深める為、所内研修を実施しました。
- 職員個々のアセスメント能力の向上を図りました。また、ご利用者の情報に関する報告、連絡、相談を職員間で徹底しました。
- 個人情報について漏えい事故がないよう、職員一人ひとりが意識をもって取り扱うよう努めました。
- 職員によりサービスの質が異なることのないよう、業務の標準化を図りました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 個々のご利用者の立場に立った、安心・安全・安定を基本とした、質の高いサービス提供に努めました。
- 介護保険事業所としてご利用者・ご家族、居宅介護支援事業所から選ばれる施設運営を目指しました。
- 介護保険の基本である「自立支援」と「介護予防支援」の理念にもとづいた、利用者本位のサービス提供を心がけました。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
17	19	16	17	16	15
10月	11月	12月	1月	2月	3月
15	14	17	17	16	14

平成28年度「並木地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,403,780	186,053	16,589,833	16,589,833	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0	224,700	△ 224,700	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	4,565	△ 4,565	
印刷代	0		0	2,565	△ 2,565	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	2,000	△ 2,000	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	1,977,500		1,977,500	1,977,500	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	471,000		471,000	471,000	0	
収入合計	18,852,280	186,053	19,038,333	19,267,598	△ 229,265	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,491,000	0	12,491,000	9,653,936	2,837,064	
本俸	5,562,000		5,562,000	6,920,160	△ 1,358,160	
社会保険料	1,616,000		1,616,000	682,130	933,870	
手当計	305,000		305,000	1,958,916	△ 1,653,916	
健康診断費	15,000		15,000	10,286	4,714	
勤労者福祉共済掛金	7,000		7,000	6,750	250	マニフレンド
退職給付引当金繰入額	152,000		152,000	75,694	76,306	
その他	4,834,000		4,834,000	0	4,834,000	
事務費	1,788,000	0	1,788,000	1,172,016	615,984	
旅費	30,000		30,000	22,961	7,039	
消耗品費	100,000		100,000	314,186	△ 214,186	
会議滞在費	10,000		10,000	0	10,000	
印刷製本費	474,000		474,000	30,954	443,046	
通信費	200,000		200,000	255,911	△ 55,911	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	500,000		500,000	203,602	296,398	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	0		0	0	0	
職員等研修費	10,000		10,000	8,430	1,570	
振込手数料	0		0	0	0	
リース料	40,000		40,000	60,558	△ 20,558	
手数料	0		0	23,414	△ 23,414	
地域協力費	15,000		15,000	12,000	3,000	
その他	409,000		409,000	240,000	169,000	
事業費	417,000	0	417,000	523,776	△ 142,515	
運営協議会経費	42,000		42,000	6,261	35,739	予算:指定額
指定管理料充当 事業	375,000		375,000	517,515	△ 142,515	
管理費	3,157,000	438,573	3,157,000	2,778,322	282,049	
建築物・建築設備点検	0		0	63,990	△ 63,990	予算:指定額
光熱水費	3,157,000	0	3,157,000	772,798	2,384,202	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	この列は入力しない
水道料金			0	0	0	
清掃費	826,000		826,000	825,848	152	
修繕費	474,000	438,573	912,573	722,790	189,783	予算:指定額
機械設備費	145,000		145,000	145,120	△ 120	
設備保全費	73,000	0	73,000	224,355	△ 151,355	
空調衛生設備保守	3,000		3,000	3,597	△ 597	
消防設備保守	13,000		13,000	13,271	△ 271	
電気設備保守	31,000		31,000	25,103	5,897	
害虫駆除清掃保守	26,000		26,000	25,495	505	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	0		0	156,889	△ 156,889	
共益費	0		0	0	0	
その他	331,000		331,000	23,421	307,579	
公租公課	999,280	0	999,280	772,314	226,966	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	999,280		999,280	772,314	226,966	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
二一ス対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	18,852,280	438,573	18,852,280	14,900,364	3,819,548	
差引	0	△ 252,520	186,053	4,367,234	△ 4,048,813	

自主事業費収入	375,000		375,000	0	375,000	予算:指定管理料を含む
自主事業費支出	375,000		375,000	517,515	△ 142,515	
自主事業収支	0	0	0	△ 517,515	517,515	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	0 駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	0 使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

**平成29年度「並木地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)<包括・介護予防・生活支援体制整備>**

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,327,000	△ 193,129	23,133,871	23,133,871	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	3,361,840	9,150,840	9,150,840	0	横浜市より
利用料金収入			0			この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	10,800	△ 10,800	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	10,200	△ 10,200	
自主事業収入			0			この列は入力しない
雑入	0	0	0	1,945	△ 1,945	
印刷代	0		0	1,445	△ 1,445	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	500	△ 500	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,506,000		1,506,000	1,506,000	0	
収入合計	30,773,000	3,168,711	33,941,711	33,964,656	△ 22,945	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	27,209,000	0	27,209,000	30,169,195	△ 2,960,195	
本俸	15,857,000		15,857,000	15,408,750	448,250	
社会保険料	2,500,000		2,500,000	3,887,601	△ 1,387,601	
手当計	2,600,000		2,600,000	9,256,955	△ 6,656,955	
健康診断費	58,000		58,000	28,758	29,242	
勤労者福祉共済掛金	26,000		26,000	26,250	△ 250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	4,550,000		4,550,000	1,560,881	2,989,119	
その他	1,618,000		1,618,000	0	1,618,000	
事務費	1,534,000	0	1,534,000	2,003,385	△ 469,385	
旅費	80,000		80,000	50,155	29,845	
消耗品費	433,000		433,000	108,171	324,829	
会議贈い費	0		0	0	0	
印刷製本費	50,000		50,000	0	50,000	
通信費	250,000		250,000	238,150	11,850	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	10,000		10,000	0	10,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	38,500		38,500	0	38,500	
職員等研修費	70,000		70,000	13,121	56,879	
振込手数料	1,500		1,500	0	1,500	
リース料	530,000		530,000	13,105	516,895	
手数料	1,000		1,000	0	1,000	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	70,000		70,000	1,580,683	△ 1,510,683	
事業費	1,190,000	0	1,190,000	1,001,549	188,451	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算：指定額
指定管理料充自主事業(包括)	100,000		100,000	24,775	75,225	予算：指定額
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000	163,340	△ 12,340	予算：指定額
指定管理料充自主事業(生活支援)	309,000		309,000	309,434	△ 434	予算：指定額
管理費	840,000	0	840,000	605,268	234,732	
建築物・建築設備点検	0		0	17,010	△ 17,010	予算：指定額
光熱水費	348,000		348,000	205,427	142,573	
電気料金			0		0	
ガス料金			0		0	この列は入力しない
水道料金			0		0	
清掃費	219,500		219,500	219,528	△ 28	
修繕費	126,000		126,000	58,871	67,129	予算：指定額
機械警備費	39,000		39,000	38,575	425	
設備保全費	19,500	0	19,500	59,632	△ 40,132	
空調衛生設備保守	1,000		1,000	955	45	
消防設備保守	3,500		3,500	3,527	△ 27	
電気設備保守	8,000		8,000	6,672	1,328	
害虫駆除清掃保守	7,000		7,000	6,776	224	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	0		0	41,702	△ 41,702	
共益費	0		0	0	0	
その他	88,000		88,000	6,225	81,775	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他()			0		0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	30,773,000	0	30,425,000	33,779,397	△ 3,148,970	
差引		3,168,711	3,516,711	185,259	3,126,025	

自主事業費収入	560,000			21,000		予算：指定管理料に含む
自主事業費支出	560,000			497,549		
自主事業収支	0			△ 476,549		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名：並木地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日
(単位：千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
		収入	介護保険収入	3,654,000	20,333,000
その他	5,578,000		1,927,000	11,194,000	0
介護予防ケアマネジメント費	5,578,000		1,920,000	5,059,000	0
事業・負担金収入	0		0	0	0
食費収入	0		0	5,469,000	0
市区町村受託金収益	0		0	501,000	0
	0		0	0	0
その他	0		7,000	165,000	0
収入合計(A)	9,232,000		22,260,000	70,112,000	0
支出	人件費		2,367,566	22,526,000	48,955,000
	事務費	8,000	66,000	298,000	0
	事業費	8,000	580,000	20,064,000	0
	管理費	0	3,611,000	2,234,000	0
	その他	5,665,000	0	109,000	0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0
	消費税	0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	5,665,000	0	0	0
		0	0	0	0
	その他	0	0	109,000	0
支出合計(B)	8,048,566	26,783,000	71,660,000	0	
収支 (A)－(B)		1,183,434	-4,523,000	-1,548,000	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

平成29年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自主事業予算額						
	②参加人数	総経費	収入		支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他	
布おもちゃの貸出	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	2027人		包括					
	0円		生活					
青年学級Hello!	障害児・者	127,700	地活	97,000	30,700	85,000	42,700	0
	356名		包括					
	300円・500円		生活					
子育てサロンなみき	養育者及び乳幼児	24,303	地活	24,303	0	0	0	24,303
	471名		包括					
	0円		生活					
なごみサロンなみき	地域	164,241	地活	27,141	137,100	0	160,391	3,850
	555人		包括					
	100円		生活					
並木ティールーム	地域	55,500	地活	43,600	11,900	18,500	37,000	0
	124人		包括					
	0円～500円		生活					
学校と福祉施設の連絡会	地域	0	地活		0	0	0	0
	13人		包括	0				
	0円		生活					
あけぼの幼稚園交流会	地域	0	地活		0	0	0	0
	61人		包括	0				
	0円		生活					
コーヒーサロン	地域	29,635	地活	25,035	4,600	0	10,729	18,906
	56人		包括					
	100円		生活					
わくわくチャレンジ事業 「手形アート&スクラップ ブックング」	子ども・青少年	19,100	地活	16,900	2,200	3,000	16,100	0
	25人		包括					
	100円		生活					
サマーフレンド(CP9館合同)	障害児・者	2,819	地活	2,819	0	0	2,819	0
	45人		包括					
	1,000円(共催相手収入)		生活					
障害児余暇支援 楽しいスポーツをしよう	障害児・者	5,000	地活	5,000	0	0	0	5,000
	117人		包括					
	0円		生活					
すくすく親子講座 ぶちぼけっと 幼児食講座	養育者及び乳幼児	10,000	地活	10,000	0	0	10,000	0
	30人		包括					
	0円		生活					
金沢シーサイドタウン地区 「子供服交換会」	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	38人		包括					
	0円		生活					
フレンド幼稚園交流会	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	24人		包括					
	0円		生活					

平成29年度 自主事業収支報告書

すくすく親子講座 ぶちぼけっと 人形劇at子サロ	養育者及び乳幼児	4,373	地活	4,373	0	3,000	1,373	0
	70人		包括					
	0円		生活					
富岡第一地区 出張医療講演会	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	40人		包括					
	0円		生活					
子育てサポートシステム 説明会	養育者及び乳幼児	0	地活	0	0	0	0	0
	14人		包括					
	0円		生活					
活動ホーム合同企画 「ふれあいハウスフェスタ」	地域	80,572	地活	55,272	25,300	0	55,272	25,300
	250人		包括					
	販売品@100円		生活					
ボランティア交流会	地域	8,265	地活	8,265	0	0	8,265	0
	30名		包括					
	0円		生活					
金沢シーサイドタウン地区 「おとうさんと遊ぼう」	養育者及び乳幼児	0	地活	0	0	0	0	0
	53人		包括					
	0円		生活					
金沢シーサイドタウン地区 「子どもといっしょにコンサート」	養育者及び乳幼児	0	地活	0	0	0	0	0
	60人		包括					
	0円		生活					
人形劇上演会	地域	6,965	地活	6,965	0	3,000	3,965	0
	85人		包括					
	0円		生活					
夏休みの勉強を一緒に やりましょう	子ども・青少年	15,930	地活	9,930	6,000	0	15,930	0
	44人		包括					
	販売品@50円		生活					
ガイドボランティア養成講座	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	30人		包括					
	0円		生活					
きれいな姿勢&ぶれない 体幹をGETしよう！	地域	50,327	地活	1,360	32,000	30,000	0	20,327
	88人		包括					
	一括2000円		生活					
わくわくチャレンジ事業 「X'mas手話ソング&ペーパークラフト」	子ども・青少年	9,660	地活	8,560	1,100	3,000	6,660	
	14人		包括					
	100円		生活					
富岡第一地区 「カラーセラピー&リンパストレッチ」	地域	0	地活	0	0	0	0	0
	17人		包括					
	0円		生活					
わくわくチャレンジ事業 「親子スイーツレッスン アイシングクッキー」	子ども・青少年	19,000	地活	15,000	4,000	3,000	16,000	0
	16人		包括					
	500円		生活					
		633,390		361,523	254,900	148,500	387,204	97,686

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業計画書

横浜市並木地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
布おもちゃの貸し出し	【目的】布おもちゃの貸出を通じた地域情報の把握とケアプラザのPR 【内容】布おもちゃの貸出 【対象者】子ども、高齢者、障がいのある方等の地域の方	通年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
青年学級 Hello !	【目的】義務教育を終了した障がい者の余暇支援 【内容】写真クラブ・カラオケ・調理・交流会 【対象者】金沢区在住在勤の障がいのある方	毎月第1火・第3日曜 22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てサロンなみき	【目的】子育てのための仲間づくりと地域情報の提供 【内容】ボランティアの協力による子育てサロン 【対象者】未就園児と養育者	毎月第3火曜 13回(臨時開催1回含む)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
なごみサロンなみき	【目的】仲間づくりとシニアボランティアの育成 【内容】喫茶コーナーとフリースペースサロン事業 【対象者】地域の方	毎月第3火曜 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
並木団フェールーム	【目的】ケアプラザ空白世代の取り込みと地域で顔なじみを作る 【内容】健康作り、ボランティア育成等多様な講座 【対象者】地域の方	奇数月第2水曜 6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
学校と福祉施設の連絡会	【目的】福祉教育推進等を目的としたネットワークづくり 【内容】関係機関相互の情報交換 【対象者】並木・富岡東地区の学校と福祉施設	9月 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あけぼの幼稚園交流会	【目的】近隣幼稚園とケアプラザの交流事業 【内容】デイサービスでの歌遊び・手遊び等のプログラム 【対象者】幼稚園児	5月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コーヒーサロン	【目的】新しい事業参加者の開拓と人材育成 【内容】コーヒーをツールとしたサロン(仲間づくり) 【対象者】地域の方	毎月第3水曜 11回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わくわくチャレンジ事業 「手形アート&スクラップブック」	【目的】小学生の余暇支援と他学年の交流 【内容】画用紙等身近な素材を使った工作教室 【対象者】近隣の小学生	8、12、2月 年3回

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サマーフレンド (CP9館合同)	【目的】金沢区ケアプラザ合同の夏休みの余暇支援 【内容】障がいのある児童とボランティアの交流 【対象者】金沢区在住の学齢期障害児	7、8月 年2回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害児余暇支援 楽しいスポーツを しよう	【目的】障害のある子どもの余暇の充実 【内容】夏休みの障害児を対象とした余暇支援 【対象者】地域の障害のある子ども	8月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
すくすく親子講座 ぶちぽけっと 「幼児食教室」	【目的】食育を通じた親子の触れ合いとヘルスマイトのPR 【内容】食事についての講話と実食 【対象者】乳幼児と養育者	9、12月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
金沢シーサイドタ ウン地区子供服交 換会	【目的】子供服のリサイクルと養育者の健康啓発 【内容】保健師による健康相談ブース、健康チェックコーナー設置 【対象者】地域の子育て中の養育者	9月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
フレンド幼稚園交 流会	【目的】近隣幼稚園とケアプラザの交流事業 【内容】デイサービスでの歌遊び・手遊び等のプログラム 【対象者】幼稚園児	9月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
すくすく親子講座 ぶちぽけっと 人形劇at子サロ	【目的】人形劇活動団体の紹介とケアプラザのPR 【内容】人形劇のボランティアによる上演会 【対象者】未就園児とその養育者	9、12月 年2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
富岡第一地区 出張医療講演会	【目的】地域に向けた健康への意識づけ促進とケアプラザの周知 【内容】医療講演会 【対象者】地域の方	11月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てサポート システム説明会	【目的】子育てサポートシステムの周知協力 【内容】子育てサポートシステムの説明会 【対象者】利用希望者及び興味のある方	11月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
活動ホーム合同企画 ふれあいハウス フェスタ	【目的】並木地域ケアプラザ及びシーサイドの地域への周知 【内容】食べ物屋台やフリーマーケット等で住民との交流 【対象者】地域の方	11月 年1回

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	【目的】個人ボランティアと利用団体の関係づくり 【内容】それぞれの自己紹介とケアプラザとの意見交換 【対象者】ボランティア登録者と利用登録団体	1月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
金沢シーサイドタウン地区「お父さんと遊ぼう」	【目的】親子のスキンシップ、遊びのヒント、仲間づくり 【内容】プラレール等おもちゃ遊びと運動あそび指導 【対象者】未就園児とその保護者(父親限定)	12月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
金沢シーサイドタウン地区「子どもといっしょにコンサート」	【目的】親子の触れ合い、参加の場の提供 【内容】小さな子ども連れでも気兼ねなく参加できるコンサート 【対象者】地域の方(親子連れ)	3月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
人形劇上演会	【目的】人形劇活動団体の紹介と多世代が集まる場を提供する 【内容】人形劇のボランティアによる上演会 【対象者】地域の方	3月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休みの勉強と一緒にやりましょう!	【目的】夏休みの子どもの居場所の提供と余暇支援 【内容】夏休みの宿題、自習の見守りと居場所の提供 【対象者】近隣の小中学生	7、8月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ガイドボランティア養成講座	【目的】ガイドボランティアの担い手の養成 【内容】障害者の移動に関する理解を深める 【対象者】地域の興味のある方	3月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
きれいな姿勢&ぶれない体幹をGETしよう!	【目的】CP空白世代の取り込みと貸館夜枠の活用 【内容】正しい身体の動かし方を学び、運動習慣を身に付ける 【対象者】地域の方	3月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わくわくチャレンジ事業「X'mas手話ソング&ペーパークラフト」	【目的】手話活動団体の紹介とケアプラザのPR 【内容】手話サークルによる手話ソング指導と簡単な季節物の工作 【対象者】近隣の小学生	8、12、2月 年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
富岡第一地区「カラーセラピー&リンパストレッチ」	【目的】保健活動推進員による保健活動 【内容】色彩心理学に触れ、リンパの流れを良くするストレッチを学ぶ 【対象者】地域の方	3月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成29年度 自主事業計画書

わくわくチャレンジ 事業「親子スイー ツレッスン アイシ ングクッキー」	【目的】食育と親子のコミュニケーションを図る 【内容】クッキーの作成過程を知り、デコレーションしてオリジナルの 物作り 【対象者】近隣の小学生と養育者	8、12、2月 年3回
-----------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------	----------------

平成29年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自主事業予算額						
	②参加人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他	
体操教室 「ステップアップ2」後方支援	高齢者	0	地活		0	0	0	0
	274人		包括	0				
	300円		生活					
日生鳥見ヶ丘 「元気づくりステーション」後方支援	高齢者	0	地活		0	0	0	0
	239人		包括	0				
	2500円/年		生活					
「音楽療法 なみき音楽倶楽部♪」 後方支援	高齢者	0	地活		0	0	0	0
	369人		包括	0				
	5000円/年		生活					
ふれあいさざなみ 「元気づくりステーション」後方支援	高齢者	0	地活		0	0	0	0
	318人		包括	0				
	100円/回		生活					
出張相談	地域住民	0	地活		0	0	0	0
	定員なし		包括	0				
	0円		生活					
出張講座	地域住民・老人会など	25,357	地活		0	25,000	357	0
	198人		包括	25,000				
	0円		生活					
介護者のつどい	介護者・地域住民	22,000	地活		0	12,000	0	10,000
	224人		包括	22,000				
	0円		生活					
ほのぼの出張相談	地域住民	0	地活		0	0	0	0
	44人		包括	0				
	0円		生活					
「並木1丁目第三住宅」 出張相談	地域住民	0	地活		0	0	0	0
	48人		包括	0				
	0円		生活					
地域ケア会議	介護保険事業所・地域関係者	0	地活		0	0	0	0
	20人		包括	0				
	0円		生活					
ロバの会 後方支援	地域住民	0	地活		0	0	0	0
	700人		包括	0				
	0円		生活					
センターいきいき「元気づくり ステーション」後方支援	高齢者	0	地活		0	0	0	0
	409人		包括	0				
	200円/回		生活					
健康麻雀サロン	高齢者	27,824	地活		10,800	0	0	24,058
	436人		包括	26,000				
	100円/回		生活	10,200				
青砥町内会 出張サロン@ あおと	地域住民	6,880	地活		0	0	0	6,880
	18回		包括	0				
	0円		生活	6,880				
日生鳥見ヶ丘「ゆりの会サロ ン この指とまれ」出張相談	地域住民	0	地活		0	0	0	0
	71人		包括	0				
	0円		生活					

平成29年度 自主事業収支報告書

ボランティアグループ交流会	地域住民	6,000	地活		0	0	0	6,000
	25人		包括	0				
	0円		生活	6,000				
ボランティア入門講座	地域住民	10,000	地活		0	5,000	0	5,000
	20人		包括	0				
	0円		生活	10,000				
ボランティア交流会	地域住民	20,000	地活		0	0	0	20,000
	10人／回		包括	0				
	0円		生活	20,000				
U-YOUカフェ	地域住民	0	地活		0	0	0	0
	20名程度/回		包括					
	0円		生活	0				
カラオケDE歌おう	地域住民	5,000	地活		0	0	0	5,000
	13人／回		包括	2,664				
	0円		生活					
認知症講座	地域住民	0	地活		0	0	0	0
	6人／回		包括	0				
	0円		生活					
臨床美術講座	地域活動実践者	30,000	地活		0	25,000	5,000	0
	19人		包括	30,000				
	0円		生活					
富岡第一地区民生委員と ケアマネジャーとの交流会	民生委員・ケアマネジャー	5,000	地活		0	0	0	5,000
	35人		包括	5,130				
	0円		生活					
シーサイドタウン地区民生委員と ケアマネジャーとの交流会	民生委員・ケアマネジャー	5,000	地活		0	0	0	5,000
	42人		包括	2,172				
	0円		生活					
事例検討会 & ケアマネカフェ	北部エリアのケアマネジャー	0	地活		0	0	0	0
	33人／回		包括	0				
	0円		生活					
ケアマネジャーと薬剤師との 情報交換会	薬剤師・ケアマネジャー	0	地活		0	0	0	0
	63人		包括	0				
	0円		生活					
北部在宅医療連絡会	医師、薬剤師、看護師、ケアマネジャー等	0	地活		0	0	0	0
	95人／回		包括	0				
	0円		生活					
		163,061		155,846	21,000	67,000	5,357	90,704

平成29年度 自主事業計画書

横浜市並木地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
体操教室 「ステップアップ2」 後方支援	【目的】高齢期の健康づくり・転倒骨折予防に取り組む自主化したグループの後方支援 【内容】健康運動指導士による体操、ケアプラザ職員によるミニ健康講話、介護予防啓発など	4月～3月 22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
日生鳥見ヶ丘 「元気づくりステーション」後方支援	【目的】元気づくりステーション事業。自主化したグループの後方支援 【内容】月2回の健康づくり体操。リラクゼーションヨガ、健康体操、ケアプラザ事業の情報提供	4月～3月 22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「音楽療法なみき 音楽倶楽部♪」	【目的】元気づくりステーション事業。自主化したグループの後方支援 【内容】音楽療法士による音楽療法、運動、栄養、認知症予防、薬などの講座の実施	4月～3月 20回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあいさざなみ 「元気づくりステーション」後方支援	【目的】元気づくりステーション事業。自主化したグループの後方支援 【内容】スリーA、スクエアステップ、体操、音楽療法、盆踊り、ケアプラザ職員による車椅子体験講座、福祉用具の展示説明会等の講座を実施	4月～3月 24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張相談	【目的】地域包括支援センターが地域に出向くことにより、直接地域住民の声を聞くことができる。また地域包括支援センターの普及にも繋がる。 【内容】サロン・夏祭り等での出張相談	通年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張講座	【目的】地域包括支援センターの周知、情報提供、地域の方との顔が見える関係づくり 【内容】地域包括支援センターとは・介護保険制度・介護予防・口腔ケア・認知症・ロコモ・スリーA・消費者被害・振り込め詐欺防止等	通年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	【目的】介護者同士の情報交換や知識を取得できる場を設定することで、介護者が介護による精神的及び身体的負担を一人で抱え込まないように支援する 【内容】 ・「おしゃべりサロン」(5月・8月・1月・3月) ・「高齢者犯罪被害の実態と予防策」(6月) ・「相続遺言・成年後見制度」(7月) ・「横浜市立大学管弦楽団コンサート」(9月) ・「住まいの選択」(10月) ・「介護講習」(11月) ・「クリスマスお食事会」(12月) ・「スマートフォン講習」(2月)	5月～3月 11回

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほのぼの出張相談	【目的】地域に出向いた相談窓口の設置による、地域ケアプラザの周知。地区社会福祉協議会及び他の地域ケアプラザと連携した地域の実態把握 【内容】金沢シーサイドタウン地区社会福祉協議会が主催するサロン「ほのぼの」に出張相談窓口を設置し、富岡東地域ケアプラザと並木	月1回・第3木曜 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「並木1丁目第三住宅」出張相談	【目的】地域に出向いた相談窓口の設置による、地域ケアプラザの周知。自治会や地区社会福祉協議会と連携した地域の実態把握 【内容】並木第三住宅自治会運営のサロンに相談窓口を開設	月1回・第2木曜 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域ケア会議	【目的】介護保険事業・行政・地域関係者とのネットワーク形成 【内容】個別事例をとおして「支援」についての共通理解を図る	年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ロバの会 後方支援	【目的】地域住民主体の認知症サポーター活動グループの後方支援 【内容】学校や行政機関等に出向いての認知症理解の啓発講座	通年 17回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
センターいきいき 「元気づくりステーション」後方支援	【目的】元気づくりステーション事業。自主化したグループの後方支援 【内容】スクエアステップ、音楽療法、ストレッチ、DVD鑑賞、健康講話、区職員とケアプラザ職員による健康チェック等の実施	4月～3月 24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康麻雀サロン	【目的】介護予防、閉じこもり予防、仲間づくり、地域参加 【内容】元気高齢者対象の麻雀をツールにしたサロン事業	4月～3月 23回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
助け合いグループ 交流会	【目的】地域で助け合い活動を行っている団体の把握とネットワーク作り 【内容】情報交換および地域包括ケア、地区内ネットワークへの協力依頼	年1回 11月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者サロン交流会	【目的】地区内のシニアクラブ等サロンの活動を行っているグループの実態把握とネットワークづくり 【内容】地域で活動するサロングループの交流と情報交換	年1回 9月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティアグループ 交流会	【目的】地区内でボランティア活動を行っているグループの実態把握とネットワークづくり 【内容】グループの交流と情報交換	年1回 2月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
日生鳥見ヶ丘「ゆりの会サロン この指とまれ」出張相談	【目的】ケアプラザから距離のある地域の町内会館で行われているサロンにケアプラザの職員が定期的に出向いて個別相談対応や情報提供を行う 【内容】個別相談対応、サロン参加者への情報提供	6月～3月 8回

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア入門講座	【目的】地域のボランティア活動者の発掘と育成 【内容】活動者の体験発表等新たにボランティア活動へ誘う講座	年2回

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	【目的】ボランティア活動への関心をつなぐ、客観的意見交換 【内容】入門講座参加者との座談会	年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カラオケDE歌おう	【目的】地域の独居高齢者の交流と憩いの場 【内容】カラオケとお話し	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症講座	【目的】40代～60代をターゲットにした介護離職を防ぐための認知症講座 【内容】認知症理解と認知症サポーター養成	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
臨床美術講座	【目的】地域活動に取り組んでいる方々を対象に臨床美術のアプローチを体験してもらい、今後の認知症予防活動の参考としてもらう 【内容】臨床美術の理解と技法を使ったワークの実践、作品の鑑賞会	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
富岡第一地区 民生委員とケアマネジャーとの交流会	【目的】担当エリアの民生委員と地域包括支援センター、ケアマネジャーが連携して地域の要援護者を支えるための顔の見える関係づくり 【内容】認知症や独り暮らし高齢者の情報共有	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
金沢シーサイドタウン地区民生委員とケアマネジャーの交流会	【目的】担当エリアの民生委員と地域包括支援センター、ケアマネジャーが連携して地域の要援護者を支えるための顔の見える関係づくり 【内容】介護予防・日常生活総合事業、生活支援体制整備事業の解説と地域で取り組みそうなことについての話し合い	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネカフェ	【目的】ケアマネジャーの交流・業務相談支援。主任ケアマネジャーとケアマネジャーの連携強化 【内容】情報提供、ケアマネジャー業務についての相談支援	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネジャーと薬剤師との情報交換会	【目的】ケアマネジャーと薬剤師との連携促進。 【内容】意見・情報交換など	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
北部在宅医療連絡会	【目的】地域で在宅医療に関わる多職種の情報交換会。 【内容】事例検討、情報交換など	年2回